

GPPU 敗因

- 英語による質問が完璧に聞き取れない。
- 英語での喋りで文法がめちゃくちゃ。
- 出川イングリッシュでも熱意が伝わって沈黙が無ければ良いと思っていたが、やはり印象が激悪だと感じた。
- 自分の研究と海外研修のつながりを論理一貫して話せなかった。
- スライドを2枚にまとめなければならないのだが、文字が多すぎて、ぱっと見の印象が悪くなかった。
- 自分の場合、大型実験で使われる検出器の一部(CDC)を修論でやるのだが、他の実験グループのCDCと比較してどうなのかということのスッキリ話すことができなかった。
- 小学生に自分の研究の面白さを伝えて、という質問が来たのだが答えられなかった。

優秀なる電子光の後輩のみんなへ

ライバルの青葉山と電子光では教育格差があります。特に僕の世代はそれが顕著に感じました。田村研の、斉藤、今本、倉田の3人は英語も上手、コミユカも高い。さらに田村教授の熱心な指導があった。一方こちら（大西研）は基本放任主義、自分からどんどん活動しないと、格差が広がるばかり。敗因は完全に自分の実力不足なのだが、この教育格差は結構ひどいと思う。もっと早く時安助教に練習頼んでおけばよかったと後悔している。質問に対する練習が圧倒的に足りなかった。

皆さんには青葉山に負けないでほしい。。。電子光の栄光のために、、、、、、